

「高校生のための学びの基礎診断」の今後の取組（案）について

1. これまでの取組

「高校生に求められる基礎学力の確実な習得」と「学習意欲の喚起」を図るため、文部科学省が一定の要件を示し、民間の試験等を認定する「高校生のための学びの基礎診断」（以下「基礎診断」という。）制度を創設し、多様な民間の試験等（測定ツール）の開発・提供、その利活用を促進。それにより、高校生の基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの取組を促進。

平成30年12月に9事業者25測定ツールを認定し、令和元年度から本格的に利活用開始。

基礎診断制度は運用開始から3年経過後を目途に文部科学省において実施状況について検証を行い、その結果に基づき、令和4年度から実施される高等学校学習指導要領への対応等の必要な措置を講じることとされている。

2. 高等学校における現在の利活用の状況

(1) 利活用についてのアンケート調査（令和元年度）

令和元年度現在における任意のアンケート調査では、全国の約60%相当の3,030校（国立7校、公立2,360校、私立663校）が利活用を予定していると回答。

(2) 測定ツールの学校での活用実態調査（令和2年度）

令和元年度に測定ツールを活用した学校での活動実態調査では、

測定ツールの活用で重視されている点は、「現状の把握（偏差値や志望先への合格率）」59.8%、「教員の指導力の向上」54.2%であり、教育のPDCAを促進するための活用が伺える。PDCAサイクルの実施については「生徒の学習向上・改善」57.3%、「教員の指導力向上」45.5%が活用されているが、「学校の取組改善」30.2%となっている。

3. 今後の取組の方向性

- 本会議を通じて、高等学校現場における利活用の実態として
 - ・ 知識・技能を問う問題のニーズは高い一方で、思考力・判断力・表現力を測定することへのニーズが高まっていないのではないかと
 - ・ 偏差値や大学合格可能性などを求めるニーズが依然としてある一方で、基礎診断を活用した授業改善への意識が必ずしも高まっていないのではないかと
 との指摘があったところ。
- このため、高等学校の現場における基礎診断の利活用の実態について詳細な分析を行うとともに、授業改善の実現を図るためのPDCAサイクルの確立に向けた基礎診断の趣旨の徹底を図るための取組を推進。
- 学校での活動実態調査によれば、集団準拠のニーズは依然としてあるが、PDCAサイクルを促進する活用も取り組まれている様子も伺える。

★学びの基礎診断の普及促進に関する取組

一部の学校に調査研究の協力を依頼して、学びの基礎診断を活用し、生徒の学力の伸びの把握や指導の工夫改善の状況、学習評価との関係を踏まえつつ、授業改善・学校の取組改善の実現を図るためのPDCAサイクルの促進の在り方等について、事例研究による調査研究を実施し、モデル事例を創出。

上記による基礎診断の利活用の取組事例をHP等で周知し、高校生の基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの取組促進を図る。

測定ツールの学校での活用実態調査の概要について

【測定ツールの使用時期】

基礎診断の利活用が始まった令和元年度以前から同じ測定ツールを活用している学校は、国語 61.1%、数学 91.7%、英語 87.5%、3教科 55.7%であった。

元年度に選定したのは国語 33.3%、英語 12.5%、3教科 41.0%であった。

【測定ツールの選定理由】

全体の傾向として、「サービス内容」が 32.5%、「学力に関すること」が 29.6%の回答であった。教科別では、

国語は「学力に関すること」が 33.3%、「授業の代替」が 24.1%、

数学は「資格や入試への対応」が 41.7%、「出題に関すること」が 22.2%、

英語は「資格や入試への対応」が 29.2%、「サービス内容」が 18.8%、

3教科は「サービス内容」が 42.6%、「学力に関すること」が 33.3%、

の回答であった。

【測定ツールの活用として重視している点】

全体の傾向として、「現状の把握（偏差値や志望先への合格率）」59.8%、「教員の指導力の向上」54.2%の回答であった。教科別では、

国語は「卒業後に役立つ学力」が 77.8%、「教員の指導力の向上」が 61.1%、

数学は「得意分野を伸ばすこと」「卒業後に役立つ学力」「現状の把握」58.3%、

英語は「現状の把握」が 75.0%、「教員の指導力の向上」が 62.5%、

3教科は「不得意分野の克服」「現状の把握」60.7%、

の回答であった。

【受検回数、費用等】

受検回数は概ね年1～3回（89.7%）、68.2%が妥当と回答している。

受験費用は国語4千円未満（72.2%）、数学5千円未満（75.0%）、英語6千円未満（75.0%）、3教科3千円未満（26.2%）、4千円未満（45.9%）との回答であり、72.0%が妥当との回答であった。

【どのような結果提供を活用しているか】

全体としては、結果提供のうち「合否判定」64.3%、「生徒自身の復習を促すもの」57.6%を活用しているという回答であった。教科別には、

国語は「合否判定（資格認定など）」が85.7%、「素点（問題の正誤）」が63.3%、

数学は「生徒自身の復習を促すもの」「学習意欲を促進させるもの」が50.0%、

英語は「学習意欲を促進させるもの」が85.7%、「観点別評価」が73.7%、

3教科は「合否判定（資格認定など）」が60.7%、「生徒自身の復習を促すもの」が59.8%、の回答であった。

【測定ツールを活用した教育のPDCAサイクルの実施】

全体としては、「生徒の学習向上・改善」57.3%、「教員の取組改善」45.5%がPDCAサイクルの実施に測定ツールを活用するという回答であった。教科別には、

国語は「生徒の学習向上・改善」が46.8%、「教員の取組改善」が34.4%、

数学は「生徒の学習向上・改善」が25.0%、「教員の取組改善」が14.3%、

英語は「生徒の学習向上・改善」が70.3%、「教員の取組改善」が61.1%、

3教科は「生徒の学習向上・改善」が62.2%、「教員の取組改善」が51.1%、

なお、「学校の取組改善」は全体として30.2%、の回答であった。

測定ツールの学校での活用実態調査 [アンケート回答結果について]

令和3年3月19日(金)現在

受託事業者：株式会社富士通総研

(本調査について)

- ・ 調査目的 「高校生のための学びの基礎診断」として認定を受けた測定ツールの学校における活用実態の把握
- ・ 調査対象 2019年度における基礎診断の実施校として把握した全国91校
- ・ 調査期間 2021年2月4日（木）～18日（木）
- ・ 調査方法 Eメールによるアンケート調査
- ・ 調査内容
 - A. 学校の概要について
 - B. 測定ツールの選定について
 - C. 測定ツールの概要について
 - D. 測定ツールを活用した学力の改善について
 - E. 測定ツール活用の課題について

(アンケート回答概況について)

- ・ 回答件数 66 校 （※内、1校は測定ツール未使用にて除外）
- ・ 集計対象とする件数 65 校

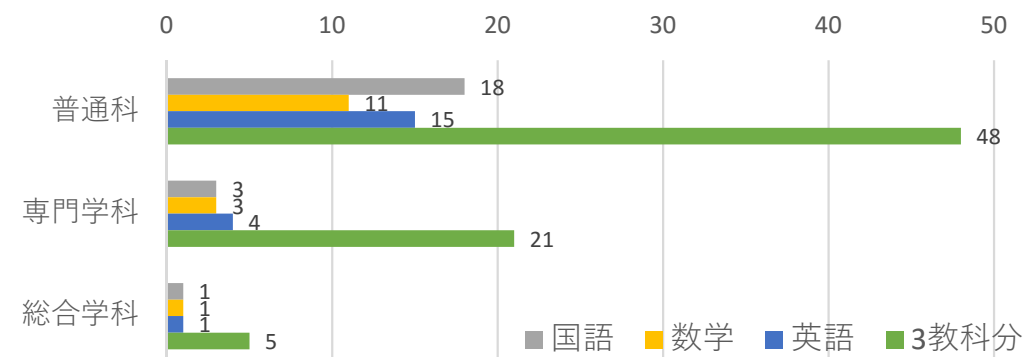
回答概況は以上です。

ご回答頂いた学校について（項目Aを含む）

- ・ 本調査項目における「学校数」は母数が全65校およびその内訳であることを示し、「回答数」は複数選択可などにより選択があった回答が母数であることを示す。また「回答数（校）」は測定ツールを使用している各教科ごとの学校数が母数である。

設置している学科（複数選択可）

測定ツールの使用 [学科別の回答数（校）]



■設置している学科

設置している学科	公立	私立	回答数計
普通科	22	30	52
専門学科	11	10	21
総合学科	4	1	5
計	37	41	78

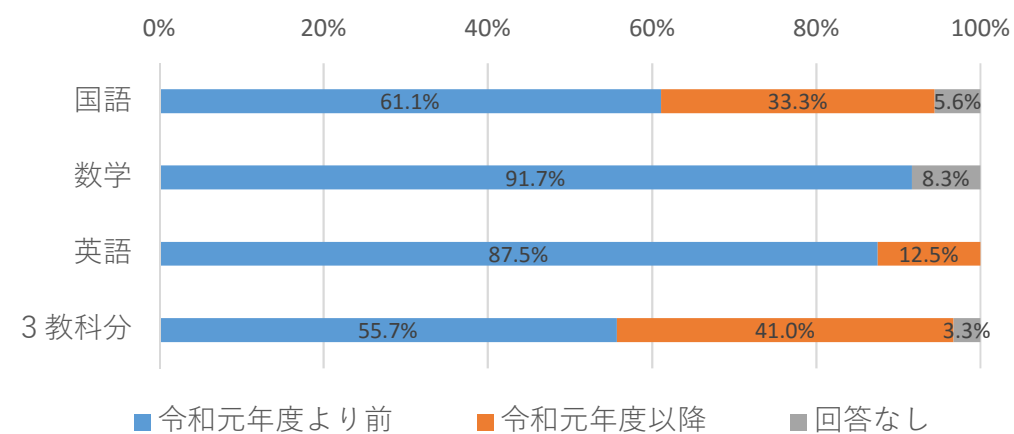
■測定ツールの使用（設置している学科別）

設置している学科	回答数（校）				（%）			
	国語	数学	英語	3教科分	国語	数学	英語	3教科分
普通科	18	11	15	48	34.6%	21.2%	28.8%	92.3%
専門学科	3	3	4	21	14.3%	14.3%	19.0%	100.0%
総合学科	1	1	1	5	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%

※分母は、表「設置している学科」の回答数計

選択した測定ツールの使用を開始した時期（1つを選択）

測定ツールの使用を開始した時期（回答数（校）の割合）



時期	回答数（校）				回答割合（%）			
	国語	数学	英語	3教科分	国語	数学	英語	3教科分
1 令和元年度より	11	11	14	34	61.1%	91.7%	87.5%	55.7%
2 令和元年度以降	6	0	2	25	33.3%	0.0%	12.5%	41.0%
3 回答なし	1	1	0	2	5.6%	8.3%	0.0%	3.3%
測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

測定ツールを選んだ理由（複数選択可）

No	測定ツールを選んだ理由	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
学力に関すること	1 生徒の平均的学力に合っている	10	3	6	41	60	55.6%	25.0%	37.5%	67.2%	56.1%
	2 生徒一人ひとりの学力の個人差に対応している	4	4	3	17	28	22.2%	33.3%	18.8%	27.9%	26.2%
	3 必履修科目の習得状況が測定できる	2	2	4	21	29	11.1%	16.7%	25.0%	34.4%	27.1%
	4 義務教育段階の習得状況が測定できる	4	1	1	18	24	22.2%	8.3%	6.3%	29.5%	22.4%
	5 「知識・技能」の習得状況が測定できる	11	5	5	27	48	61.1%	41.7%	31.3%	44.3%	44.9%
	6 「思考力・判断力・表現力」の状況が測定できる	11	3	1	18	33	61.1%	25.0%	6.3%	29.5%	30.8%
計		42	18	20	142	222	33.3%	21.4%	17.9%	33.3%	29.6%

No	測定ツールを選んだ理由	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
出題に関すること	7 良問が出題される	6	3	4	13	26	33.3%	25.0%	25.0%	21.3%	24.3%
	8 各科目の不得意箇所が分かる領域別の問題が出題される	3	3	3	13	22	16.7%	25.0%	18.8%	21.3%	20.6%
	9 不得意分野に関する類問が出題される	1	2	1	3	7	5.6%	16.7%	6.3%	4.9%	6.5%
計		10	8	8	29	55	18.5%	22.2%	16.7%	15.8%	17.1%

No	測定ツールを選んだ理由	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
資格や入試への対応	10 資格として就職時に有利となる	7	5	2	0	14	38.9%	41.7%	12.5%	0.0%	13.1%
	11 入試での点数加算や試験免除などに有利となる	4	9	9	0	22	22.2%	75.0%	56.3%	0.0%	20.6%
	12 受検者数が多く、入試の志望校選択の参考になる	1	1	3	12	17	5.6%	8.3%	18.8%	19.7%	15.9%
計		12	15	14	12	53	22.2%	41.7%	29.2%	6.6%	16.5%

No	測定ツールを選んだ理由	回答数（校）					回答割合（％）					
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計	
授業の代替 など	13	測定時に学力の目標値や出題範囲が設定ができる	6	1	1	8	16	33.3%	8.3%	6.3%	13.1%	15.0%
	14	授業の単位認定の一部として代替できる	1	1	0	0	2	5.6%	8.3%	0.0%	0.0%	1.9%
	15	テスト作成や採点等に係る教員の負荷軽減	6	1	1	16	24	33.3%	8.3%	6.3%	26.2%	22.4%
	計		13	3	2	24	42	24.1%	8.3%	4.2%	13.1%	13.1%

No	測定ツールを選んだ理由	回答数（校）					回答割合（％）					
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計	
ツールの サービス内 容	16	手軽に測定できる等、サービスとして利用しやすい	4	4	4	21	33	22.2%	33.3%	25.0%	34.4%	30.8%
	17	測定結果の提供内容が充実している	4	2	4	32	42	22.2%	16.7%	25.0%	52.5%	39.3%
	18	測定後の学習や指導へのフォローが充実している	2	2	1	29	34	11.1%	16.7%	6.3%	47.5%	31.8%
	19	事業者のサポートが全般にわたり充実している	4	1	3	22	30	22.2%	8.3%	18.8%	36.1%	28.0%
計		14	9	12	104	139	19.4%	18.8%	18.8%	42.6%	32.5%	

No	測定ツールを選んだ理由	回答数（校）					回答割合（％）					
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計	
その他	20	以前から使用しており、選定理由は不明	0	1	0	3	4	0.0%	8.3%	0.0%	4.9%	3.7%
	21	その他理由	3	1	2	1	7	16.7%	8.3%	12.5%	1.6%	6.5%
	計		3	2	2	4	11	8.3%	8.3%	6.3%	3.3%	5.1%

測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
-----------------	----	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	--------

その他理由（自由記述部）

（国語）	・コミュニケーション能力育成 ・これから先に求められるようになる学力に必ず必要になると信じて、4年前から導入している
（数学）	・数学へのモチベーションアップのため
（英語）	・1，2学年次に受検させることで、生徒の伸長を各分野ごとに確認することができる
（3教科分）	・予習・復習教材が充実している

測定ツールの活用として敢えて言えば重視していること。（複数選択可）

No	生徒の学力への活用として	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1	不得意分野（教科、観点、領域）の克服への活用	4	4	3	37	48	22.2%	33.3%	18.8%	60.7%	44.9%
2	得意分野（教科、観点、領域）を伸ばすことへの活用	3	7	4	14	28	16.7%	58.3%	25.0%	23.0%	26.2%
3	卒業後に役立つ学力への活用	14	7	5	6	32	77.8%	58.3%	31.3%	9.8%	29.9%
4	現状の把握（偏差値や志望先への合格率）のため活用	8	7	12	37	64	44.4%	58.3%	75.0%	60.7%	59.8%
	計	29	25	24	94	172	40.3%	52.1%	37.5%	38.5%	40.2%

	教育方法改善への活用として	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
5	教員の指導力（授業、試験、進路対応）の向上への活用	11	3	10	34	58	61.1%	25.0%	62.5%	55.7%	54.2%
6	教員の指導（授業、試験、進路対応）に係る負担軽減として活用	6	1	3	15	25	33.3%	8.3%	18.8%	24.6%	23.4%
	計	17	4	13	49	83	47.2%	16.7%	40.6%	40.2%	38.8%

測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
-----------------	----	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	--------

受検している試験形態（複数選択可）

		回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1	PBT（紙での試験）	18	12	15	59	104	100.0%	100.0%	93.8%	96.7%	97.2%
2	CBT（コンピュータでの試験）	0	0	6	2	8	0.0%	0.0%	37.5%	3.3%	7.5%
3	適応型テスト	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計	18	12	21	61	112	33.3%	33.3%	43.8%	33.3%	34.9%

測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
-----------------	----	----	----	----	-----	--------	--------	--------	--------	--------

（試験形態へのご意見）

0件（意見なし）

受検回数（回/年）

No	受検回数	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1	1回	10	1	8	18	37	55.6%	8.3%	50.0%	29.5%	34.6%
2	2回	4	6	6	16	32	22.2%	50.0%	37.5%	26.2%	29.9%
3	3回	4	5	2	16	27	22.2%	41.7%	12.5%	26.2%	25.2%
4	4回	0	0	0	6	6	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	5.6%
5	5回	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	6回	0	0	0	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	1.9%
7	6回以上	0	0	0	1	1	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.9%
8	回答なし	0	0	0	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	1.9%
測定ツールを使用している学校数		18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

事業者が提供する試験回数に対するご意見（1つを選択）

No	意見	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1	少ない	3	0	4	1	8	16.7%	0.0%	25.0%	1.6%	7.5%
2	妥当	11	8	9	45	73	61.1%	66.7%	56.3%	73.8%	68.2%
3	多い	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	回答なし	4	4	3	15	26	22.2%	33.3%	18.8%	24.6%	24.3%
測定ツールを使用している学校数		18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

受検費用（1回1人当たりの概算費用）

1回1人当たり の概算費用	回答数（校）					回答割合（%）				
	国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1 1,000円未満	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.9%
2 2,000円未満	1	0	0	10	11	5.6%	0.0%	0.0%	16.4%	10.3%
3 3,000円未満	4	0	0	16	20	22.2%	0.0%	0.0%	26.2%	18.7%
4 4,000円未満	13	2	3	28	46	72.2%	16.7%	18.8%	45.9%	43.0%
5 5,000円未満	0	9	0	1	10	0.0%	75.0%	0.0%	1.6%	9.3%
6 5,000円以上	0	0	12	2	14	0.0%	0.0%	75.0%	3.3%	13.1%
7 回答なし	0	1	0	4	5	0.0%	8.3%	0.0%	6.6%	4.7%
測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

費用に対するご意見（1つを選択）

No	意見	回答数（校）					回答割合（%）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1	安い	1	0	2	0	3	5.6%	0.0%	12.5%	0.0%	2.8%
2	妥当	13	6	6	52	77	72.2%	50.0%	37.5%	85.2%	72.0%
3	高い	4	5	8	5	22	22.2%	41.7%	50.0%	8.2%	20.6%
4	回答なし	0	1	0	4	5	0.0%	8.3%	0.0%	6.6%	4.7%
	測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

事業者より提供される結果の有無(a)、(a)の中で活用しているもの(b)、(b)の内容への満足度 ※ (a)、(b)は複数選択可

		回答数(校)																																						
		結果提供の有無(a)					(a)の内、活用しているもの(b)					(b)の内容への満足度(c)																												
		提供あり										非常に満足			やや満足			どちらともいえない			やや不満			非常に不満																
		国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3科目	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計									
(評価方法や評価指標)																																								
絶対評価																																								
1	目標に対する到達度(ループリック、通過率など)	8	4	8	36	56	5	2	4	15	26	3	1	2	5	11	2	1	2	7	12	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
2	学力レベル(IRTにおける学力値など)	6	4	9	38	57	2	2	6	22	32	1	1	2	8	12	1	1	4	11	17	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3	共通の指標(英語におけるCEFRなど)	1	0	13	11	25	1	0	9	7	17	1	0	5	3	9	0	0	4	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4	検定独自指標	7	5	11	16	39	3	1	7	6	17	2	0	1	3	6	0	1	5	1	7	0	0	1	2	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	22	13	41	101	177	11	5	26	50	92	7	2	10	19	38	3	3	15	23	44	0	0	1	8	9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
相対評価																																								
5	偏差値、平均(全国、校内)との差	9	6	9	51	75	3	2	5	30	40	2	0	4	10	16	1	2	1	18	22	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	順位(全国順位、校内順位など)	3	4	11	51	69	1	2	6	27	36	0	0	3	9	12	1	2	3	17	23	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	12	10	20	102	144	4	4	11	57	76	2	0	7	19	28	2	4	4	35	45	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合否判定																																								
7	資格認定	14	8	6	4	32	12	3	4	2	21	4	1	1	1	7	7	2	3	1	13	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8	志望校判定	0	0	0	24	24	0	0	0	15	15	0	0	0	8	8	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	14	8	6	28	56	12	3	4	17	36	4	1	1	9	15	7	2	3	8	20	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(評価の粒度)																																								
素点																																								
9	総括(総合点や単元ごと等)の得点	16	8	11	53	88	10	2	6	27	45	5	1	4	8	18	4	1	2	14	21	1	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10	出題された問題ごとの正誤	14	9	8	50	81	9	3	5	26	43	5	0	3	8	16	4	3	2	14	23	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	30	17	19	103	169	19	5	11	53	88	10	1	7	16	34	8	4	4	28	44	1	0	0	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
観点別																																								
11	知識・技能への評価	6	7	11	34	58	3	2	8	17	30	2	0	3	5	10	1	2	4	12	19	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	思考力・判断力・表現力への評価	6	7	8	32	53	3	2	6	15	26	1	0	2	3	6	2	2	3	10	17	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	12	14	19	66	111	6	4	14	32	56	3	0	5	8	16	3	4	7	22	36	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
分野別																																								
13	領域別の正答数・正答率(数学の領域例:数と式、図形と計量等)	13	9	10	51	83	6	1	5	31	43	2	0	2	8	12	3	1	3	18	25	1	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14	形式別(選択式、短答式、記述式等)の正答数・正答率	4	6	8	31	49	1	1	3	16	21	0	0	1	6	7	1	1	2	10	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	学級別の特徴・学年内の分布	6	3	7	44	60	1	2	2	26	31	0	0	1	9	10	1	2	1	15	19	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	23	18	25	126	192	8	4	10	73	95	2	0	4	23	29	5	4	6	43	58	1	0	0	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		回答数（校）																																												
		結果提供の有無(a)					(a)の内、活用しているもの(b)					(b)の内容への満足度(c)																																		
		提供あり										非常に満足					やや満足					どちらともいえない					やや不満					非常に不満														
		国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3科目	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計					
(生徒へのアドバイス)																																														
16	生徒自身による復習を促すもの	8	3	9	50	70	3	2	5	31	41	2	0	2	9	13	0	2	2	15	19	1	0	1	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17 問題解説のテキスト	4	1	7	48	60	1	0	5	29	35	1	0	2	9	12	0	0	3	14	17	0	0	0	5	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	18 問題解説動画	1	0	0	34	35	0	0	0	19	19	0	0	0	4	4	0	0	0	9	9	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	計	13	4	16	132	165	4	2	10	79	95	3	0	4	22	29	0	2	5	38	45	1	0	1	18	20	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
不得意分野を示すもの																																														
	19 誤答への解説や類似の誤答傾向など	5	3	6	28	42	0	1	4	14	19	0	0	1	2	3	0	1	2	8	11	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	20 他者と比較した弱点箇所	1	2	5	23	31	0	0	3	8	11	0	0	1	1	2	0	0	1	6	7	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	21 類問演習プリント	4	1	3	27	35	1	0	2	15	18	0	0	0	3	3	0	0	1	9	10	1	0	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	22 弱点を克服する動画	1	0	0	26	27	0	0	0	14	14	0	0	0	3	3	0	0	0	6	6	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	計	11	6	14	104	135	1	1	9	51	62	0	0	2	9	11	0	1	4	29	34	1	0	3	12	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
得意分野や学習の成果など、学習意欲を促進させるもの																																														
	23 時系列での変化など傾向分析	1	2	6	23	32	0	1	6	10	17	0	0	2	1	3	0	1	3	8	12	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	24 無回答箇所への回答の観点を示すもの	1	0	1	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	計	2	2	7	30	41	0	1	6	10	17	0	0	2	1	3	0	1	3	8	12	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
(教員へのアドバイス)																																														
	25 クラス別の理解度状況により指導改善を示すもの	3	0	6	41	50	1	0	5	25	31	1	0	1	4	6	0	0	3	14	17	0	0	1	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	26 つまづき箇所への指導ガイド	2	1	3	28	34	0	0	2	15	17	0	0	1	3	4	0	0	0	7	7	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	27 教員向けの教科指導力向上セミナー	2	1	0	17	20	1	0	0	8	9	0	0	0	1	1	0	0	0	4	4	1	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	28 指導用テキスト	7	0	2	16	25	4	0	1	6	11	1	0	0	0	1	2	0	1	6	9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	29 教科指導事例	1	0	1	9	11	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	計	15	2	12	111	140	6	0	8	58	72	2	0	2	9	13	2	0	4	32	38	2	0	2	17	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
30	(その他)	1	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	計	1	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107																																								

※1は「測定ツールを使用している学校数」に対する割合。※2は(a)に対する割合。※3は(b)に対する割合。

(評価方法や評価指標)	回答割合 (%)																																	
	結果提供の有無(a)					(a)の内、活用しているもの(b)※2					(b)の内容への満足度(c)※3																							
	提供あり※1										非常に満足				やや満足				どちらともいえない				やや不満				非常に不満							
	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分
絶対評価																																		
1	目標に対する到達度(ルーブリック、通過率など)																																	
2	学力レベル(IRTにおける学力値など)																																	
3	共通の指標(英語におけるCEFRなど)																																	
4	検定独自指標																																	
	計																																	
相対評価																																		
5	偏差値、平均(全国、校内)との差																																	
6	順位(全国順位、校内順位など)																																	
	計																																	
合否判定																																		
7	資格認定																																	
8	志望校判定																																	
	計																																	
(評価の粒度)																																		
素点																																		
9	総括(総合点や単元ごと等)の得点																																	
10	出題された問題ごとの正誤																																	
	計																																	
観点別																																		
11	知識・技能への評価																																	
12	思考力・判断力・表現力への評価																																	
	計																																	
分野別																																		
13	領域別の正答数・正答率(数学の領域例:数と式、図形と計量等)																																	
14	形式別(選択式、短答式、記述式等)の正答数・正答率																																	
15	学級別の特徴・学年内の分布																																	
	計																																	

※1は「測定ツールを使用している学校数」に対する割合。※2は(a)に対する割合。※3は(b)に対する割合。

		回答割合 (%)																																			
		結果提供の有無(a)					(a)の内、活用しているもの(b)※2					(b)の内容への満足度(c)※3																									
		提供あり※1										非常に満足			やや満足			どちらともいえない			やや不満			非常に不満													
		国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	
(生徒へのアドバイス)																																					
生徒自身による復習を促すもの																																					
16	生徒自身による復習を促すもの					44.4%	25.0%	56.3%	82.0%	65.4%	37.5%	66.7%	55.6%	62.0%	58.6%	66.7%	40.0%	29.0%	31.7%	100%	40.0%	48.4%	46.3%	33.3%	20.0%	22.6%	22.0%										
17	問題解説のテキスト					22.2%	8.3%	43.8%	78.7%	56.1%	25.0%	71.4%	60.4%	58.3%	100%	40.0%	31.0%	34.3%	60.0%	48.3%	48.6%	17.2%	14.3%	3.4%	2.9%												
18	問題解説動画					5.6%			55.7%	32.7%				55.9%	54.3%				21.1%	21.1%			47.4%	47.4%	31.6%	31.6%											
	計					9.3%	8.3%	12.5%	15.3%	13.1%	30.8%	50.0%	62.5%	59.8%	57.6%	8.3%	4.8%	5.3%	33.3%	16.7%	19.0%	19.3%	8.3%	7.1%	7.0%												
不得意分野を示すもの																																					
19	誤答への解説や類似の誤答傾向など					27.8%	25.0%	37.5%	45.9%	39.3%	33.3%	66.7%	50.0%	45.2%		25.0%	14.3%	15.8%	100%	50.0%	57.1%	57.9%	25.0%	21.4%	21.1%												
20	他者と比較した弱点箇所					5.6%	16.7%	31.3%	37.7%	29.0%		60.0%	34.8%	35.5%		33.3%	12.5%	18.2%	33.3%	75.0%	63.6%	33.3%	12.5%	18.2%													
21	類問演習プリント					22.2%	8.3%	18.8%	44.3%	32.7%	25.0%	66.7%	55.6%	51.4%			20.0%	16.7%	50.0%	60.0%	55.6%	100%	50.0%	20.0%	27.8%												
22	弱点を克服する動画					5.6%			42.6%	25.2%				53.8%	51.9%				21.4%	21.4%			42.9%	42.9%	35.7%	35.7%											
	計					15.3%	12.5%	21.9%	42.6%	31.5%	9.1%	16.7%	64.3%	49.0%	45.9%	8.3%	2.5%	4.4%	25.0%	12.5%	20.0%	17.6%	4.2%	2.5%	2.9%												
得意分野や学習の成果など、学習意欲を促進させるもの																																					
23	時系列での変化など傾向分析					5.6%	16.7%	37.5%	37.7%	29.9%	50.0%	100%	43.5%	53.1%		33.3%	10.0%	17.6%	100%	50.0%	80.0%	70.6%	16.7%	10.0%	11.8%												
24	無回答箇所への回答の観点を示すもの					5.6%		6.3%	11.5%	8.4%																											
	計					8.3%		18.8%	33.6%	23.4%	50.0%	85.7%	33.3%	41.5%	50.0%	10.0%	8.0%	9.7%	30.0%	28.0%	27.4%	10.0%	14.0%	12.9%													
(教員へのアドバイス)																																					
25	クラス別の理解度状況により指導改善を示すもの					16.7%		37.5%	67.2%	46.7%	33.3%	83.3%	61.0%	62.0%	100%	20.0%	16.0%	19.4%	60.0%	56.0%	54.8%	20.0%	28.0%	25.8%													
26	つまづき箇所への指導ガイド					11.1%	8.3%	18.8%	45.9%	31.8%		66.7%	53.6%	50.0%		50.0%	20.0%	23.5%		46.7%	41.2%	50.0%	33.3%	35.3%													
27	教員向けの教科指導力向上セミナー					11.1%	8.3%		27.9%	18.7%	50.0%		47.1%	45.0%			12.5%	11.1%		50.0%	44.4%	100%		37.5%	44.4%												
28	指導用テキスト					38.9%		12.5%	26.2%	23.4%	57.1%	50.0%	37.5%	44.0%	25.0%			9.1%	50.0%	100%	100%	81.8%	25.0%		9.1%												
29	教科指導事例					5.6%		6.3%	14.8%	10.3%			44.4%	36.4%			25.0%	25.0%		25.0%	25.0%			50.0%	50.0%												
	計					16.7%	3.3%	15.0%	36.4%	26.2%	40.0%	66.7%	52.3%	51.4%	6.7%	5.0%	3.1%	3.6%	6.7%	10.0%	11.0%	10.6%	6.7%	5.0%	5.9%	5.8%											
30	(その他)					5.6%			1.6%	1.9%	100%			50.0%					100%			100%															
	計					5.6%			0.3%	0.4%	100%			50.0%					100%			100%															
						100%	100%	100%	100%	100%																											

結果が提供されるスピード（試験実施後の日数）

試験実施後	回答数（校）					回答割合（％）				
	国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1 ～10日	1	0	0	2	3	5.6%	0.0%	0.0%	3.3%	2.8%
2 ～20日	0	1	1	16	18	0.0%	8.3%	6.3%	26.2%	16.8%
3 ～30日	10	8	2	26	46	55.6%	66.7%	12.5%	42.6%	43.0%
4 ～40日	4	1	1	6	12	22.2%	8.3%	6.3%	9.8%	11.2%
5 ～50日	0	0	3	1	4	0.0%	0.0%	18.8%	1.6%	3.7%
6 ～60日	1	0	4	2	7	5.6%	0.0%	25.0%	3.3%	6.5%
7 61日～	1	0	4	2	7	5.6%	0.0%	25.0%	3.3%	6.5%
8 回答なし	1	2	1	6	10	5.6%	16.7%	6.3%	9.8%	9.3%
測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

結果の提供スピードに対するご意見（1つを選択）

試験実施後	回答数（校）					回答割合（％）				
	国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1 非常に遅い	1	0	4	1	6	5.6%	0.0%	25.0%	1.6%	5.6%
2 遅い	1	1	3	8	13	5.6%	8.3%	18.8%	13.1%	12.1%
3 普通	15	7	7	42	71	83.3%	58.3%	43.8%	68.9%	66.4%
4 速い	0	1	0	2	3	0.0%	8.3%	0.0%	3.3%	2.8%
5 非常に速い	0	0	0	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	1.9%
8 回答なし	1	3	2	6	12	5.6%	25.0%	12.5%	9.8%	11.2%
測定ツールを使用している学校数	18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

生徒の基礎学力の確実な習得に向けて、実施しているPDCAと測定ツール活用の有無（複数選択可）

		回答数（校）										
		PDCAの実施 （実施あり(a)）					測定ツール活用 （a)の内、活用あり					
		国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	
生徒の学習の向上・改善 （生徒の改善を促す指導改善）												
1	P	将来目標の明確化と学習計画の作成への指導	10	4	3	33	50	3	2	2	19	26
2	D	生徒自身での学習方略や学習方法の工夫への指導	6	2	6	26	40	2	1	5	15	23
3	D	生徒同士での協働学習を取り入れた授業	8	3	4	19	34	3	0	1	3	7
4	C	自己評価として、得意分野の気づきへの指導	9	2	6	19	36	6	0	5	14	25
5	C	自己評価として、自分の努力の成果を認識することへの指導	10	4	5	27	46	6	1	3	17	27
6	C	自己評価として、何が分かっていないかの確認への指導	10	4	5	31	50	5	1	4	23	33
7	A	生徒自身での復習（間違っ問題をやリ直す）への促し	9	5	8	38	60	4	1	6	29	40
計			62	24	37	193	316	29	6	26	120	181

※1は「測定ツールを使用している学校数」に対する割合。※2は(a)に対する割合。

回答割合（％）									
PDCAの実施 （実施あり(a)）※1					測定ツール活用 （a)の内、活用あり※2				
国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
55.6%	33.3%	18.8%	54.1%	46.7%	30.0%	50.0%	66.7%	57.6%	52.0%
33.3%	16.7%	37.5%	42.6%	37.4%	33.3%	50.0%	83.3%	57.7%	57.5%
44.4%	25.0%	25.0%	31.1%	31.8%	37.5%		25.0%	15.8%	20.6%
50.0%	16.7%	37.5%	31.1%	33.6%	66.7%		83.3%	73.7%	69.4%
55.6%	33.3%	31.3%	44.3%	43.0%	60.0%	25.0%	60.0%	63.0%	58.7%
55.6%	33.3%	31.3%	50.8%	46.7%	50.0%	25.0%	80.0%	74.2%	66.0%
50.0%	41.7%	50.0%	62.3%	56.1%	44.4%	20.0%	75.0%	76.3%	66.7%
49.2%	33.0%	42.2%	45.2%	42.2%	46.8%	25.0%	70.3%	62.2%	57.3%

		回答数（校）										
		PDCAの実施 （実施あり(a)）					測定ツール活用 （a)の内、活用あり					
		国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	
（教員の取り組みによる改善）												
8	D	生徒個々への補習等による改善	10	5	4	28	47	2	1	2	12	17
9	D	クラス単位での補習等による改善	5	2	2	7	16	3	0	2	5	10
10	D	習熟度に分けた補習等による改善	3	2	5	19	29	0	0	3	9	12
11	D	授業での再説明や宿題による改善	14	5	5	37	61	6	1	4	20	31
12		（その他）	0	0	2	1	3	0	0	0	1	1
計			32	14	18	92	156	11	2	11	47	71

回答割合（％）									
PDCAの実施 （実施あり(a)）※1					測定ツール活用 （a)の内、活用あり※2				
国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
55.6%	41.7%	25.0%	45.9%	43.9%	20.0%	20.0%	50.0%	42.9%	36.2%
27.8%	16.7%	12.5%	11.5%	15.0%	60.0%		100.0%	71.4%	62.5%
16.7%	16.7%	31.3%	31.1%	27.1%			60.0%	47.4%	41.4%
77.8%	41.7%	31.3%	60.7%	57.0%	42.9%	20.0%	80.0%	54.1%	50.8%
		12.5%	1.6%	2.8%				100.0%	33.3%
44.4%	29.2%	28.1%	37.7%	36.4%	34.4%	14.3%	61.1%	51.1%	45.5%

（英語）

- ・ 少人数制の導入
- ・ 試験後に生徒の得意分野、不得意分野を確認し、次年度の指導に役立っている。

（3教科分）

- ・ 個別面談の際に活用し、希望進路に沿って補習を行っていく。

		回答数 (校)										
		PDCAの実施 (実施あり(a))					測定ツール活用 (a)の内、活用あり					
		国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	
教員の指導力の向上												
1	P	年間指導計画の改善	9	2	3	22	36	2	0	1	6	9
2	D	学習指導案など単元授業計画の改善	10	1	4	21	36	2	0	2	7	11
3	D	生徒の理解度状況に合わせた授業の進行(スピード)への改善	12	4	8	30	54	4	0	4	9	17
4	D	授業中に行う学習評価の改善	9	2	1	19	31	2	0	1	3	6
5	D	(志望校合格に向けた)進路指導の充実	8	3	5	27	43	1	1	1	15	18
6	D	同一教科の教員同士による指導方法の見直し	9	2	7	23	41	2	0	4	9	15
7	D	教科を超えた教員同士による指導方法の見直し	3	0	2	16	21	2	0	0	4	6
8	D	教員間の情報共有(教材研究や指導案など)の改善	7	3	7	28	45	2	0	5	12	19
9	D	定期考査等の試験問題の開発・改善	9	4	3	21	37	2	1	1	8	12
10	D	事業者による研修等支援	5	0	0	18	23	0	0	0	9	9
11	C	改善結果の共有・分析(教員)	8	2	4	20	34	4	0	3	10	17
12	A	課題の明確化と目標の設定(教員)	7	4	5	23	39	3	1	3	9	16
13		(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	96	27	49	268	440	26	3	25	101	155

回答割合 (%)									
PDCAの実施 (実施あり(a))					測定ツール活用 (a)の内、活用あり				
国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
50.0%	16.7%	18.8%	36.1%	33.6%	22.2%		33.3%	27.3%	25.0%
55.6%	8.3%	25.0%	34.4%	33.6%	20.0%		50.0%	33.3%	30.6%
66.7%	33.3%	50.0%	49.2%	50.5%	33.3%		50.0%	30.0%	31.5%
50.0%	16.7%	6.3%	31.1%	29.0%	22.2%		100.0%	15.8%	19.4%
44.4%	25.0%	31.3%	44.3%	40.2%	12.5%	33.3%	20.0%	55.6%	41.9%
50.0%	16.7%	43.8%	37.7%	38.3%	22.2%		57.1%	39.1%	36.6%
16.7%		12.5%	26.2%	19.6%	66.7%			25.0%	28.6%
38.9%	25.0%	43.8%	45.9%	42.1%	28.6%		71.4%	42.9%	42.2%
50.0%	33.3%	18.8%	34.4%	34.6%	22.2%	25.0%	33.3%	38.1%	32.4%
27.8%			29.5%	21.5%				50.0%	39.1%
44.4%	16.7%	25.0%	32.8%	31.8%	50.0%		75.0%	50.0%	50.0%
38.9%	33.3%	31.3%	37.7%	36.4%	42.9%	25.0%	60.0%	39.1%	41.0%
41.0%	17.3%	23.6%	33.8%	31.6%	27.1%	11.1%	51.0%	37.7%	35.2%

		回答数 (校)										
		PDCAの実施 (実施あり(a))					測定ツール活用 (a)の内、活用あり					
		国	数	英	3教科分	計	国	数	英	3教科分	計	
学校としての取り組み												
1	P	学校の教育課程、指導計画の見直し	6	3	3	27	39	0	0	1	7	8
2	D	生徒の学力によるクラス分けへの対応	5	4	3	19	31	0	0	2	6	8
3	D	習熟度別の指導	5	3	5	28	41	0	0	4	10	14
4	D	授業研究による指導方法の改善	7	2	3	27	39	2	0	1	7	10
5	D	教員研修や他校事例研究など教員の指導力向上支援方法の改善	5	2	4	19	30	0	0	1	5	6
6	D	測定教科以外における指導改善	2	0	0	14	16	2	0	0	3	5
7	D	若手教員のバックアップ体制の改善	3	1	1	11	16	0	0	0	3	3
8	D	教員の配置や指導体制の改善	6	2	1	13	22	0	0	0	3	3
9	D	教員の教材研究・指導力向上のための時間の確保	3	0	1	14	18	0	0	1	5	6
10	D	教科書その他の教材の選定	9	3	3	23	38	1	0	2	6	9
11	C	改善結果の共有・分析(学校全体)	6	1	2	23	32	3	1	1	13	18
12	C	学校評価との連動	5	1	1	15	22	1	0	0	4	5
13	A	生徒や保護者への説明(学校としての指導方針の理解を促す等)	6	3	3	25	37	1	0	1	10	12
14	A	課題の明確化と目標の設定(学校全体)	6	3	1	20	30	2	1	0	9	12
15		(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	63	21	25	232	341	12	2	11	78	103

回答割合 (%)									
PDCAの実施 (実施あり(a))					測定ツール活用 (a)の内、活用あり				
国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
33.3%	25.0%	18.8%	44.3%	36.4%			33.3%	25.9%	20.5%
27.8%	33.3%	18.8%	31.1%	29.0%			66.7%	31.6%	25.8%
27.8%	25.0%	31.3%	45.9%	38.3%			80.0%	35.7%	34.1%
38.9%	16.7%	18.8%	44.3%	36.4%	28.6%		33.3%	25.9%	25.6%
27.8%	16.7%	25.0%	31.1%	28.0%			25.0%	26.3%	20.0%
11.1%			23.0%	15.0%	100.0%			21.4%	31.3%
16.7%	8.3%	6.3%	18.0%	15.0%				27.3%	18.8%
33.3%	16.7%	6.3%	21.3%	20.6%				23.1%	13.6%
16.7%		6.3%	23.0%	16.8%			100.0%	35.7%	33.3%
50.0%	25.0%	18.8%	37.7%	35.5%	11.1%		66.7%	26.1%	23.7%
33.3%	8.3%	12.5%	37.7%	29.9%	50.0%	100.0%	50.0%	56.5%	56.3%
27.8%	8.3%	6.3%	24.6%	20.6%	20.0%			26.7%	22.7%
33.3%	25.0%	18.8%	41.0%	34.6%	16.7%		33.3%	40.0%	32.4%
33.3%	25.0%	6.3%	32.8%	28.0%	33.3%	33.3%		45.0%	40.0%
23.3%	11.7%	10.4%	25.4%	21.2%	19.0%	9.5%	44.0%	33.6%	30.2%
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					

上記「PDCAの実施」項に「実施」と選択されたことは、繰り返し継続的に取り組んでいるか。（1つを選択）

No	繰り返し継続的に	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1	取り組んでいるものが多い	9	5	7	35	56	50.0%	41.7%	43.8%	57.4%	52.3%
2	取り組んでいないものが多い	6	1	5	16	28	33.3%	8.3%	31.3%	26.2%	26.2%
3	回答なし	3	6	4	10	23	16.7%	50.0%	25.0%	16.4%	21.5%
測定ツールを使用している学校数		18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

測定ツールを使った学習に関する生徒の声（複数選択可）

No	生徒の声	回答数（校）					回答割合（％）				
		国語	数学	英語	3教科分	計	国語	数学	英語	3教科分	計
1	現状の把握（偏差値や志望先への合格率）が分かった	7	5	6	38	56	38.9%	41.7%	37.5%	62.3%	52.3%
2	不得意分野（教科、観点、領域）が分かった	8	7	7	34	56	44.4%	58.3%	43.8%	55.7%	52.3%
3	記述式の問題は難しかった	8	6	3	14	31	44.4%	50.0%	18.8%	23.0%	29.0%
4	受検料が高い	3	4	4	6	17	16.7%	33.3%	25.0%	9.8%	15.9%
5	その他	1	0	0	3	4	5.6%	0.0%	0.0%	4.9%	3.7%
測定ツールを使用している学校数		18	12	16	61	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他（自由記述部）

- | |
|---|
| （3教科分） <ul style="list-style-type: none"> ・ 偏差値の提供など、自分の位置を示すものがほしい(これは模試など別に補うが) ・ あまり役に立ったと思っていないように感じます。 |
|---|

測定ツールを活用するに当たり、その他の課題やご意見

回答数 31 校

・以下、主な回答。[]内は回答した学校において活用している測定ツールの教科を示す。

（活用方法について）

- ・ データがはっきり視覚化され、気づきが多かった。（教員も生徒も） [国語]
- ・ 複数学年・教科に対して過年度比較や、クロス分析をデータとして示すことで、学校全体で共有できるようになると思うので、対象関係者だけにとどまらない、データの活用方法があるとありがたいと思います。 [国語、英語、3教科分]
- ・ 電子データを利用するには別料金がかかるので、紙ベースだけではない無料のデータの提供をしてほしい。 [3教科分]

（生徒の学力への対応）

- ・ 全範囲にわたる基礎学力を測定することができない。大学入学に必要な学力（偏差値など）と判定結果が少し乖離している。 [英語、3教科分]
- ・ 基礎学力を身につけないと、思考力判断力などは身につかないので、まずは基礎学力を確認し、生徒の弱点の把握と励みになるような教材が欲しいです。 [3教科分]
- ・ 実施時期に迷う（各種検定、学校行事、生徒会行事、総合的な探究の時間等との調整が難しい）。低学力校向けの測定ツールが少ない。 [英語、3教科分]

（測定ツールの改善）

- ・ 測定ツールによって、結果が提出されるスピードが遅いものがあるため、生徒へのフィードバックに時間を要する。 [国語、数学、英語、3教科分]
- ・ 本校では測定ツールとしての利用をしていない。あくまでも資格取得をターゲットとしている。1つの基準として作られたものではなく、多様な認定ツールにおいてそれぞれの基準でさまざまな表現がなされているのではないかとと思われる。 [国語、英語、3教科分]
- ・ 大学入試も目標とした指標とはならず、この試験と模擬試験の両方を受験する必要があり、経済的に苦しい生徒への負担が大きくなってしまっているように感じています。教員の指導力の向上を図る指標としては有効ですが、学生の実力を測るツールとしては少し疑問も残るように思います。 [3教科分]

（金銭的負担や制度について）

- ・ 受験料が高い。成績に反映できる位置づけがもう少しあってもよいかと思えます。 [国語、数学、英語、3教科分]
- ・ 測定ツールを積極的に活用していった場合、教科としての評価（観点別・5段階）に用いることを推奨されるのかどうか知りたい。 [国語、英語、3教科分]

基礎診断制度で認定されている測定ツール以外に使用している民間の測定ツール（検定等）

回答数 20 校

（国語）	日本漢字能力検定（11）、読字力検定(1)、日本語検定(1)
（社会）	ニュース時事能力検定(4)、世界遺産検定(1)
（数学）	実用数学能力検定(2)
（その他）	秘書検定(1)、色彩検定(1)、硬筆・毛筆検定(1)、商業に関する検定(2)、情報の資格試験(1)、家政系の資格試験(1) 河合塾の模試(1)、河合塾の「学びみらいPASS」(1)、TERACCE(1)

その他、多様化する生徒への基礎的学力習得に関する意見

回答数 25 校

・以下、主な回答。[] 内は回答した学校において活用している測定ツールの教科を示す。

(学力差への対応)

- ・ 義務教育段階での学習の習得度に個人差、教科差など、非常に広がってきており、生徒の基礎学力の習得に向けての方策として、授業での焦点の当て方、学び直しの度合いなど、難しく感じる部分もあります。また、測定ツールをいかに活用していき、個別最適化につなげていくか、が課題となっています。[国語、3教科分]
- ・ 基礎学力の格差への対応策が必要と考えられる。同一校内でも、かなりの学力格差が存在する。[数学、3教科分]
- ・ 基礎学力習得のためには個別指導も欠かせない状況になってきており、アダプティブ教育を実施するために、ICT教材の活用をどんどん進めていかなければならないと感じる。[国語、英語、3教科分]

(測定ツールについて)

- ・ 年々、学力層が変化するため、毎年、測定ツールの見直しを行っているが、学力の開きを見るための適正なツールを選択できているのかが結果でしか確認できない。ツール選択の段階（4月）で問題を見ることができれば、適正なツールの選択ができると思う。[3教科分]
- ・ 生徒の基本的な日本語力（読む力・書く力など）を測定できるツールがあればありがたいです。一般的な国語の読解問題だけでは把握できない面があるため、必要になってくると思います。[3教科分]
- ・ 課題探究授業を継続実施していると、受験対策なしでも、国語などの測定ツールでの伸張が顕著である。総合的な学びの中に、教科学習の知識技能的要素、コミュニケーション能力や主体性等の要素を意図的に組み込むことが可能だと感じるが、一方で教科学習のようにステップアップのための各ステップが可視化しがたい。そのようなツールをどこかで開発していただきたい。[国語、数学、英語、3教科分]

(検定料や制度について)

- ・ 大学入試等で、各種検定試験の取得を、今後さらに推奨するのであれば、検定料金の引き下げなど、受験生の経済的負担軽減策が講じられるのが望ましいと考えます。[3教科分]
- ・ 測定ツールの活用は非常に有用だと思うが、検定料などの費用面での補助または、上限の設定などをお願いしたい。[国語、数学、英語、3教科分]
- ・ 中学校でも同様の基礎学力をチェックできる仕組みがあると、生徒自身が気付くきっかけやモチベーションにつながると思う。[3教科分]